

# 病床機能別の集計結果の概要

(単位:床)

構想区域	医療機能	令和元年 (2019年) (7月1日現在)	令和2年 (2020年) (7月1日現在)	※ 【参考】	【参考】
		病床機能報告 (稼働病床数) B	病床機能報告 (稼働病床数) B	増減 B-A	平成37年 (2025年) 地域医療構想 における 必要病床数 C
中北	高度急性期	1,125	877	△ 248	403
	急性期	1,556	1,678	122	1,353
	回復期	744	766	22	1,227
	慢性期	1,323	1,460	137	1,161
	計	4,748	4,781	33	4,144
峡東	高度急性期	0	88	88	48
	急性期	703	580	△ 123	279
	回復期	890	892	2	978
	慢性期	296	341	45	419
	計	1,889	1,901	12	1,724
峡南	高度急性期	0	0	0	0
	急性期	309	259	△ 50	78
	回復期	0	35	35	102
	慢性期	145	141	△ 4	83
	計	454	435	△ 19	263
富士・東部	高度急性期	17	14	△ 3	84
	急性期	726	687	△ 39	318
	回復期	255	240	△ 15	259
	慢性期	77	87	10	117
	計	1,075	1,028	△ 47	778
総計	高度急性期	1,142	979	△ 163	535
	急性期	3,294	3,204	△ 90	2,028
	回復期	1,889	1,933	44	2,566
	慢性期	1,841	2,029	188	1,780
	計	8,166	8,145	△ 21	6,909

➢ 医療機能を未選択の病床は含まず。

※ 時点の異なる病床機能報告の数値については、以下の点から、単純に比較すべき性質のものではないと考えられるため、「増減」は「参考」扱いとする。

- ・ 医療機能の区分の基準は定性的なものであり、あくまでも医療機関の自主的な判断によるものであること。